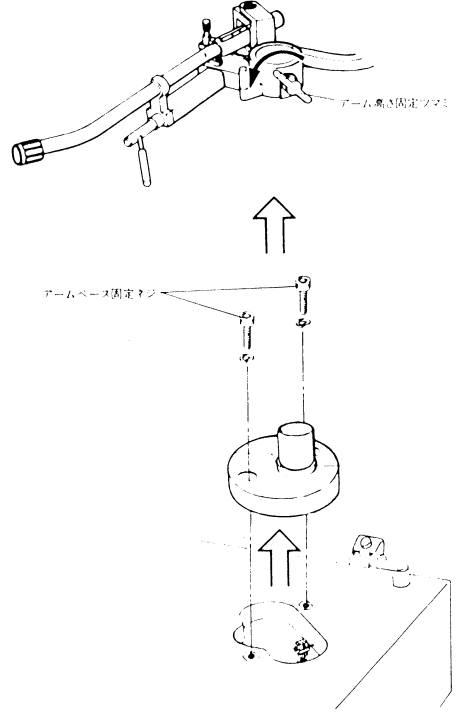




# 取り付け方法は次の順序で行ないます

## 1. 本体からトーンアーム、アームベースを取りはずします。

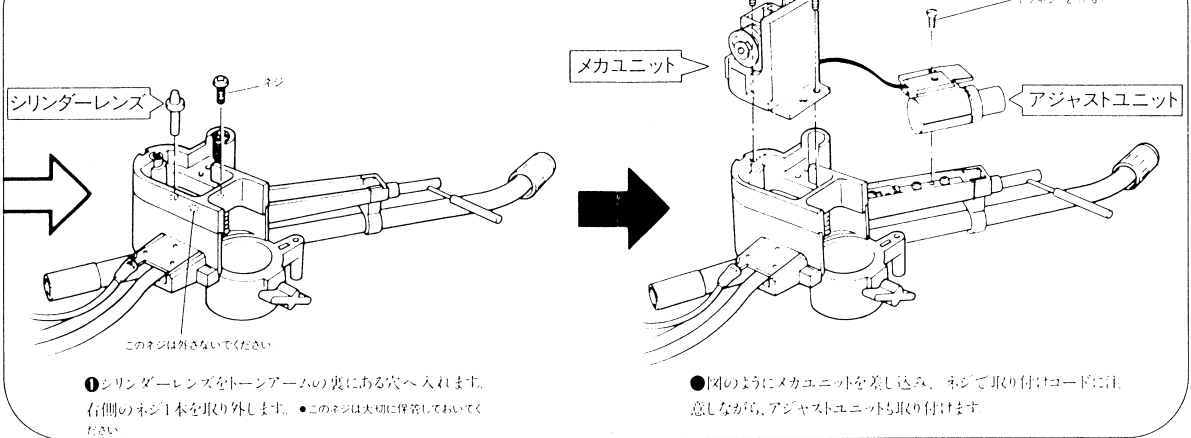
- トーンアームを取りはずします
- アーム高さ固定ツマミを矢印方向○にゆるめ、アームベースから抜取りします



- アームベースを取りはずします。
- 2本の固定ネジをはずし、アームベースを持ち上げ、接続されているコネクタを抜き取ります。  
※本体から出ているコネクタを、次の作業がしやすいようにセロハンテープ等で留めておいてください。

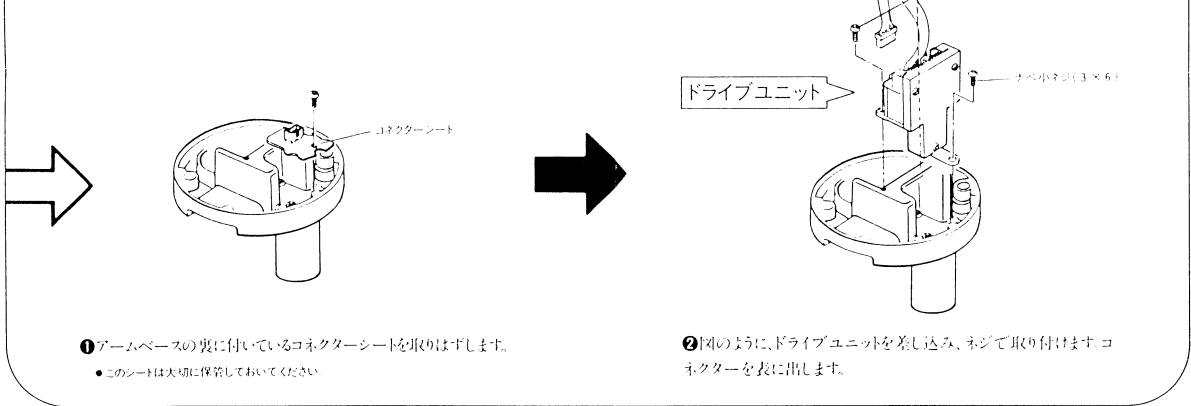
## 2. 裏がえして各部品を取り付けます。

### メカユニットの取り付け



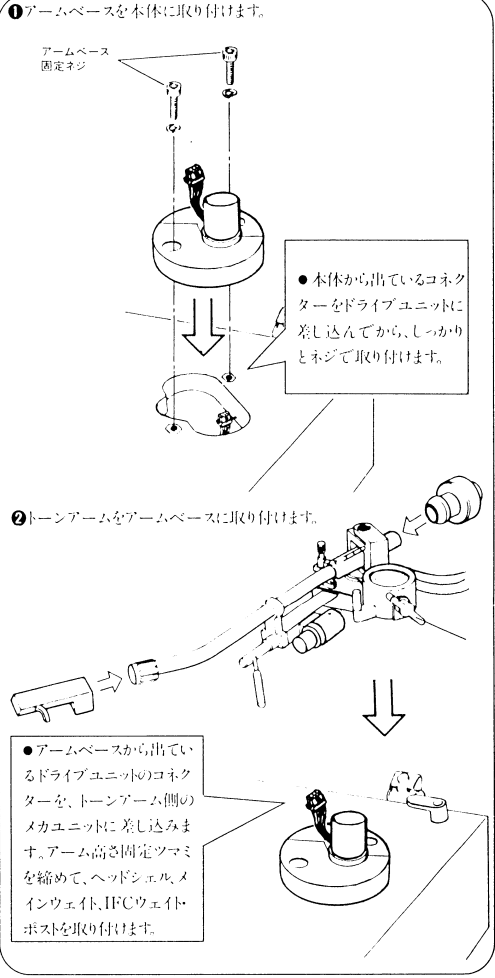
- シリンダーレンズをトーンアームの裏にある穴へ入れます。右側のネジ1本を取り外します。●このネジは大切に保管しておいてください
- 図のようにメカユニットを差し込み、ネジで取り付けコードに注意しながら、アジャストユニットも取り付けます

### アジャストユニットの取り付け



- アームベースの裏に付いているコネクタシートを取りはずします。  
●このシートは大切に保管しておいてください
- 図のように、ドライブユニットを差し込み、ネジで取り付けはコネクタを表に出します。

## 3. 本体にトーンアーム、アームベースを取り付けます。

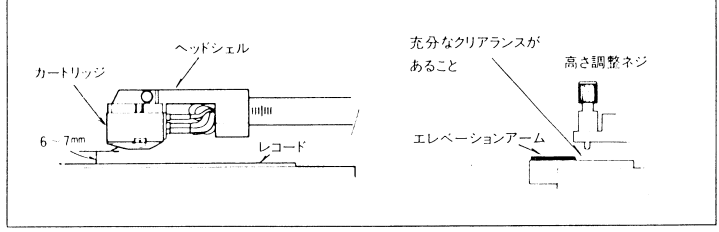


- アームベースを本体に取り付けます。  
●本体から出ているコネクタをドライブユニットに差し込んでから、しっかりとネジで取り付けます。
- トーンアームをアームベースに取り付けます。  
●アームベースから出ているドライブユニットのコネクタを、トーンアーム側のメカユニットに差し込みます。アーム高さ固定ツマミを締めて、ヘッドシェル、メインウェイト、IFCウェイトボルトを取り付けます。

# 取り付け後の調整はしっかりと

1. GTシリーズ取扱説明書を参照して、各調整を行なってください。

●トーンアームの高さ調整をします。トーンアームが



レコードと水平になるように、高さの調整をしてください。

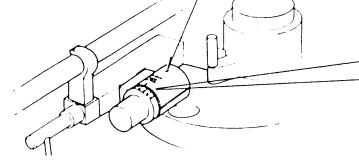
●アームリフターの高さ調整をします。キューイング

十分なクリアランスがあること  
エレベーションアーム

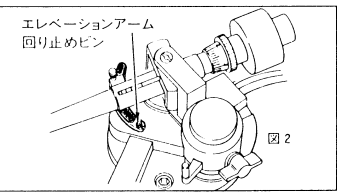
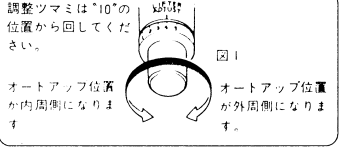
レバーを上げた状態で、針先がレコード盤から6~7mm離れる程度に調整します。このとき、キューイングレバーを下げてレコード演奏状態にしても、エレベーションアームと高さ調整ネジの間が、充分にクリアランスを保っていることを確認してください。

- ヘッドシェルの傾き、水平バランス、斜角、インサイドフォースキャンセラー、の各調整を行なってください。
2. オートアップ位置を調整します。  
●アームリフターを上げた状態にして、オートリフター調整ツマミを $\sim 10^\circ$ の位置にセットします。  
●スタート/ストップボタンを押します。

●トーンアームをオートアップさせない位置にセットします。  
●アジャストユニットのLED(赤)が点灯するまで、オートリフター調整ツマミを右方向○に回します。(図1参照)  
●レコードを演奏して、オートアップ位置を確認してください。



●レコード最内周付近にてオートアップさせた場合とマニュアルアップさせた場合との高さの相違がある際は、エレベーションアーム回り止めピンで、オートアップした高さと同じになるように調整します。(マニュアルアップの位置を基準にして、オートアップ位置が高い場合、右に、低い場合、左に回します。)(図2参照)



※オートアップ動作をしない場合は次の事を確認してください。  
(1)各ユニットが正しく取り付けられていますか。  
(2)コネクタがしっかり接続されていますか。